

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	広報番組制作放送事業	会計	一般会計	事業No.	45	施策順No.	92-005
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-2-10-2		
政策	9 市民と共に進める行政経営			課等名	秘書課		
施策	92 情報共有の促進			事業期間	開始	14	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	全市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人)	107259	106630	105691	105691	107000	
		ケーブルテレビ加入世帯数(世帯)	17217	17486	17500	17550	17600	
意図	市政に関する情報を、音声と映像を使って提供し、市民に視聴してもらう必要な情報を得たことにより市民が満足する							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	市からの情報提供についてのアンケートに基づく、市からの情報をCA-TVから得た人の割合と、いいだFMから得た人の割合の平均(%)	21	20	20	25	20	25	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	割合も低く目標値も下回った。FMについては難聴解消の課題がある。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>1 ICTVを通じての広報番組制作放送 特集記事を題材に企画番組「テレビ広報」を毎月1番組制作し放映している。お知らせ番組「市民だより」は、毎週更新し、毎日放映している。なお竜東地域や遠山地域等、飯田市が運営する飯田市ケーブルテレビもこの番組を放映している</p> <p>2 いいだFMを通じての広報番組制作放送 企画番組「かざこし歳時記」は、各課や学校、保育園など関係する団体が登場する番組を放送している。お知らせ番組「広報いいだの風」を毎日放送している</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<p>1 ICTVを通じての広報番組制作放送(竜東・遠山地区も放映)</p> <p>(1)テレビ広報(毎月1本・中旬から下旬の1週間に平日は日に5回、土日は日に4回放送)</p> <p>(2)市民だより(月～金・毎日6回 土・日5回)</p> <p>2 いいだFMを通じての広報番組制作放送</p> <p>(1)かざこし歳時記(月～金・毎日4回)</p> <p>(2)広報いいだの風(月～金・毎日6回 土・日3回)</p> <p>※平成22年度 月～金:261日 土・日:104日</p>	<p>1 ICTV放送</p> <p>(1) 広報回数</p> <p>(2) 広報回数</p> <p>2 いいだFM放送</p> <p>(1) 広報回数</p> <p>(2) 広報回数</p>	<p>1</p> <p>(1) 396 回</p> <p>(2) 2,086 回</p> <p>2</p> <p>(1) 1,044 回</p> <p>(2) 1,878 回</p>
23年度実施計画	<p>1 ICTVを通じての広報番組制作放送(竜東・遠山地区も放映)</p> <p>(1)テレビ広報(毎月1本・中旬から下旬の1週間に平日は日に5回、土日は日に4回放送)</p> <p>(2)市民だより(月～金・毎日6回 土・日5回)</p> <p>2 いいだFMを通じての広報番組制作放送</p> <p>(1)かざこし歳時記(月～金・毎日4回)</p> <p>(2)広報いいだの風(月～金・毎日6回 土・日3回)</p> <p>※平成23年度 月～金:261日 土・日:104日</p>	<p>1 ICTV放送</p> <p>(1) 広報回数</p> <p>(2) 広報回数</p> <p>2 いいだFM放送</p> <p>(1) 広報回数</p> <p>(2) 広報回数</p>	<p>1</p> <p>(1) 396 回</p> <p>(2) 2,086 回</p> <p>2</p> <p>(1) 1,044 回</p> <p>(2) 1,878 回</p>

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		30,350	30,227	30,350		
計(A)		30,350	30,227	30,350		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			30,227			

4 事業に対する市民や議会の意見

平成23年度中にサービスを停止する予定であるオプトーク通信に関連し、オプトーク利用者が代替メディアであるケーブルテレビやエフエムにスムーズに移行するためにも、あるいは市からの情報提供を望む市民の要望により応えるためにも、番組内容については常に改善を加える必要がある

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	経費節減	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市役所・市民が情報を共有する	施策の成果指標又はムトス指標	市民が知りたい行政の情報が十分に入手できると感じている市民の割合(%)
				0.633
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	市からの情報提供、情報共有という点で貢献。		
	後期に向けた課題	番組内容の精査。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	利用者の需要をより満たすための情報提供がなされるよう工夫。		
	後期に向けた課題	オプトーク通信サービス廃止に伴う環境整備。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	随意契約によるため削減は困難。		
	後期に向けた課題	現状維持。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	適切であった。		
	後期に向けた課題	オプトーク放送廃止に伴い、代替メディアへ移行できるような環境整備。利用者のケーブルテレビ加入の初期投資費用負担の問題。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①主体は飯田市。利用者に対する情報提供と番組制作費の負担。 ②情報提供と制作費の負担。		
	後期に向けた課題	①主体は飯田市。利用者に対する情報提供と番組制作費の負担。 ②情報提供と制作費の負担及び代替メディアへ移行できるような環境整備。		
全体を通じて	4年間の振り返り	市からの情報提供、情報共有という点で貢献。		
	後期に向けた課題	番組内容の精査及びオプトーク通信サービス廃止に伴う環境整備。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------